

# 騒音計・振動計ソフト使い方マニュアル

## ※注意※

本ソフトは Excel2007 以降のバージョンをサポートするものであり、それ以前の Excel バージョンについては、動作しない恐れがあります。また、将来 Excel のバージョンアップを含むマイクロソフト社が VBA の仕様を変更した場合、一部機能が使用出来なくなる恐れがありますので、ご注意ください。

**実行するエクセルファイル名は絶対に変更しないでください。**

株式会社アクティオ  
EG 通信計測部

発行・改定日	担当者	内容
2017/12/18		初回作成
2024/3/27		使用機器に NL-43、NV-2018/2023 を追加

ご使用前に、計測に使用した機器の型式をご確認ください。

## NL・VM系

騒音計：NL-21

騒音計：NL-42

騒音計：NL-43



CF カード



SD カード



SD カード

振動計：VM-53A



振動計：VM-55



## NV系

環境表示計：NV-2009/2015/2018/2023



## 【目次】

ソフトの立ち上げ.....	5
1.「日報・グラフ作成(個別作成)」を開く.....	5
2.騒音・振動のデータを取り込む .....	6
★取り込むデータを間違っソフトがフリーズした場合の対処方法について.....	7
3. 日報とグラフの作成方法.....	8
4. 一括読込ファイルの使用方法 .....	11
5. 一括読込で作成したファイルを開いて、日報とグラフを作成します。 .....	17
6.測定値の簡易説明.....	19

## ソフトの立ち上げ

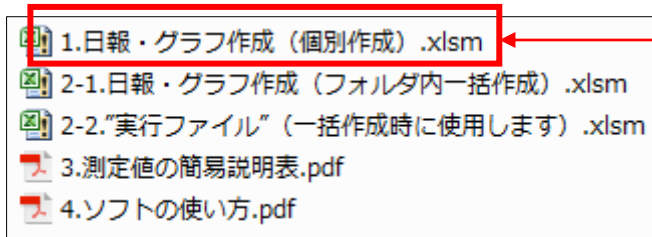
マイクロソフト Excel ファイル 騒音・振動の日報 Ver.1 を開きます。



ファイルが圧縮されている場合は、適宜解凍してご使用ください。

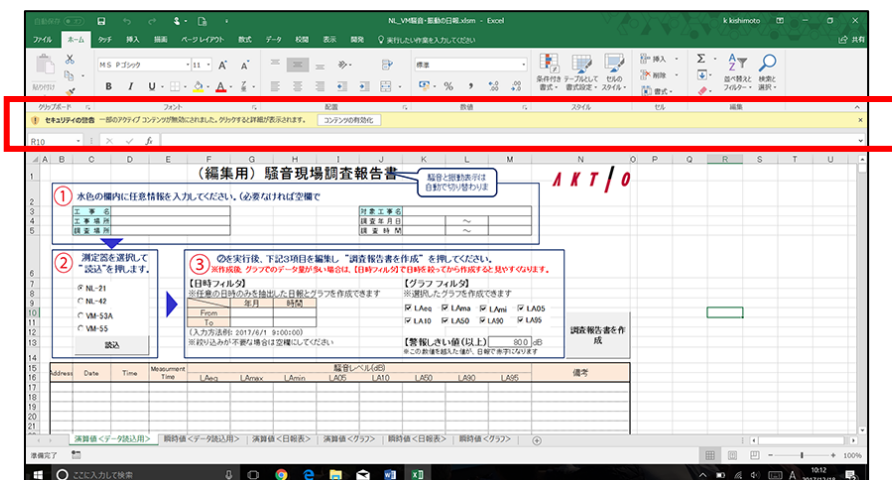
※通常、圧縮ファイルの拡張子は.zip などです。

### 1.「1.日報・グラフ作成(個別作成)」を開きます。



※注意(セキュリティの警告について)

エクセルファイルを開いた時にセキュリティの警告が出た場合、  
コンテンツの有効化を押下して VBA マクロを有効にしてください。



## 2. 騒音・振動日報の作成方法

2-1.使用する機器（データを取り込む機器）の選択を行います。

(編集用) 騒音現場調査報告書

騒音と振動表示は自動で切り替わります

① 水色の欄内に任意情報を入力してください。(必要な場合は空欄で)

工事名  
工事場所  
調査場所

対象工事名  
調査年月日  
調査時間

② 測定器を選択して“読み込み”を押します。

- NL-21
- NL-42
- VM-53A
- VM-55

読み込み

③ ②を実行後、下記3項目を編集し“調査報告書を作成”を押してください。  
※作成後、グラフでのデータ量が多い場合は、【日時フィルタ】で日時を絞ってから作成すると見やすくなります。

【日時フィルタ】  
※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成できます

From 年月 時間  
To 年月 時間  
(入力方法例: 2017/6/1 9:00:00)  
※絞り込みが不要な場合は空欄にしてください

【グラフフィルタ】  
※選択したグラフを作成できます

☒ LAeq ☒ LAmax ☒ LAmin ☒ LA05  
☒ LA10 ☒ LA50 ☒ LA90 ☒ LA95

【警報しきい値(以上)】 80.0 dB  
※この数値を超えた値が、日報で赤字になります

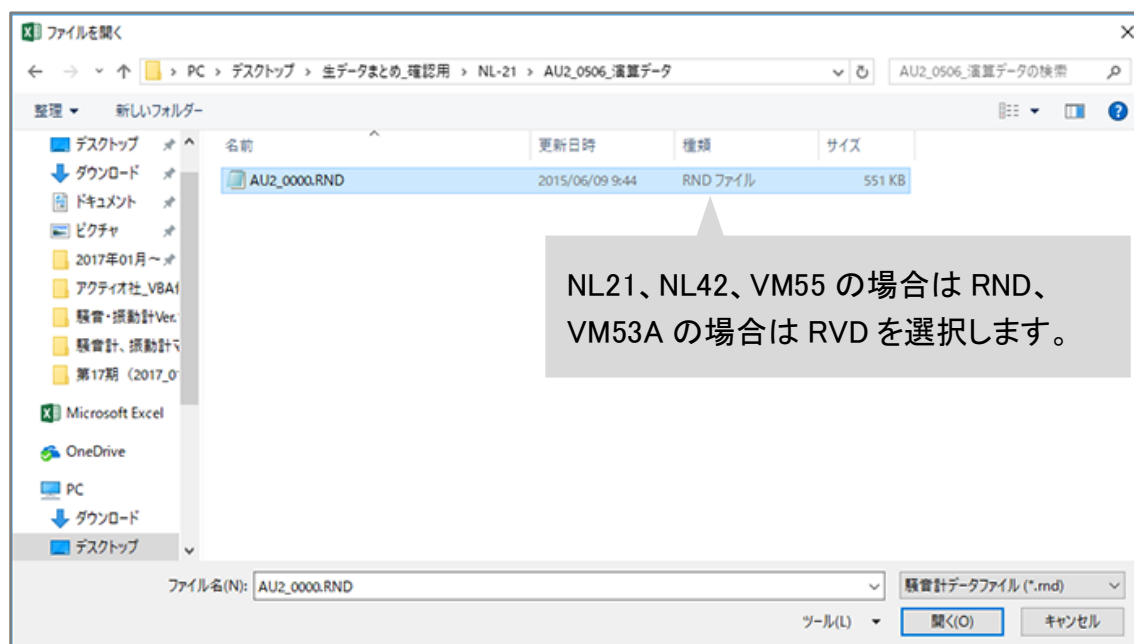
調査報告書を作成

Address	Date	Time	Measurement	騒音レベル(dB)						備考		
				LAeq	LAmax	LAmin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	

※使用する機器の間違いに注意してください。

2-2.使用する機器を確認し、読み込みボタンを押下します。

2-3.選択した機器の取り込みたいファイルを選択します。



取り込むファイルが保存されているフォルダを確認してください。(次頁)

### NL-21、VM-53A の場合

ストアモードをオート1、またはタイマーオート1で測定した際は、瞬時値（データ上では「AU1\_4 桁数字」）となります。

ストアモードをオート2、またはタイマーオート2で測定した際は演算値（データ上では「AU2\_4 桁数字」）となります。

※瞬時値・演算値の同時保存はできません。

### NL-42、NL-43、VM-55 の場合

AUTO\_LEQ・・・演算値 / AUTO\_LV・・・瞬時値

### NV2009/2015/2018/2023 の場合

Log から始まる CSV データを選択してください。

## 2-4.データが取り込まれます。

Address	Date	Time	Measurement Time	LAeq	LAmax	LAmin	LA05	LA10	LA50	LA90	LA95	備考
1	H27.5.6	15:49:16	0:10:00	64.5	84.1	54.9	69.4	67.3	62.0	59.6	58.0	
2	H27.5.6	15:59:16	0:10:00	62.1	78.4	55.9	65.4	63.5	60.7	59.1	58.5	
3	H27.5.6	16:09:16	0:10:00	63.1	76.9	56.8	66.5	64.6	62.1	60.3	58.9	
4	H27.5.6	16:19:16	0:10:00	60.5	71.3	54.6	63.5	62.3	59.7	57.9	57.4	
5	H27.5.6	16:29:16	0:10:00	63.2	80.6	57.8	66.2	64.5	62.0	60.3	59.9	
6	H27.5.6	16:39:16	0:10:00	54.4	75.2	47.3	58.9	57.2	51.1	49.3	48.9	
7	H27.5.6	16:49:16	0:10:00	51.1	62.4	47.6	53.9	52.6	50.4	49.0	48.7	
8	H27.5.6	16:59:16	0:10:00	51.1	60.8	47.2	53.9	52.4	50.4	49.0	48.7	
9	H27.5.6	17:09:16	0:10:00	51.0	60.7	47.1	54.0	52.3	50.2	48.8	48.6	
10	H27.5.6	17:19:16	0:10:00	51.4	68.2	46.7	55.0	52.8	50.3	48.8	48.6	
11	H27.5.6	17:29:16	0:10:00	50.9	59.9	47.6	53.4	52.2	50.4	49.1	48.8	
12	H27.5.6	17:39:16	0:10:00	51.0	61.0	46.9	53.6	52.1	50.4	49.2	48.9	
13	H27.5.6	17:49:16	0:10:00	51.3	67.1	47.4	54.1	52.6	50.5	49.2	48.9	
14	H27.5.6	17:59:16	0:10:00	51.7	64.3	46.7	55.7	53.7	50.5	49.2	48.9	
15	H27.5.6	18:09:16	0:10:00	51.0	66.8	47.2	54.0	52.3	50.1	48.7	48.5	
16	H27.5.6	18:19:16	0:10:00	51.0	62.8	47.3	53.2	52.2	50.4	49.1	48.8	
17	H27.5.6	18:29:16	0:10:00	51.0	63.6	46.9	53.7	52.3	50.3	49.0	48.7	
18	H27.5.6	18:39:16	0:10:00	51.0	62.4	47.6	53.3	52.1	50.4	49.1	48.8	
19	H27.5.6	18:49:16	0:10:00	50.9	62.1	46.8	53.7	52.1	50.2	48.8	48.5	
20	H27.5.6	18:59:16	0:10:00	51.7	62.6	47.4	55.1	53.1	50.7	49.2	48.9	
21	H27.5.6	19:09:16	0:10:00	52.0	62.7	47.1	55.8	54.3	50.9	49.1	48.7	
22	H27.5.6	19:19:16	0:10:00	51.5	64.0	46.2	54.7	53.1	50.6	49.0	48.7	
23	H27.5.6	19:29:16	0:10:00	53.4	74.1	47.1	56.6	54.1	50.7	49.0	48.6	
24	H27.5.6	19:39:16	0:10:00	53.2	70.7	47.1	55.8	54.0	51.1	49.2	48.7	
25	H27.5.6	19:49:16	0:10:00	51.7	61.5	46.5	55.3	54.2	50.7	48.8	48.4	

★取り込むデータを間違っソフトがフリーズした場合の対処方法について

Ctrl

+

break

または

Ctrl

+

Pause

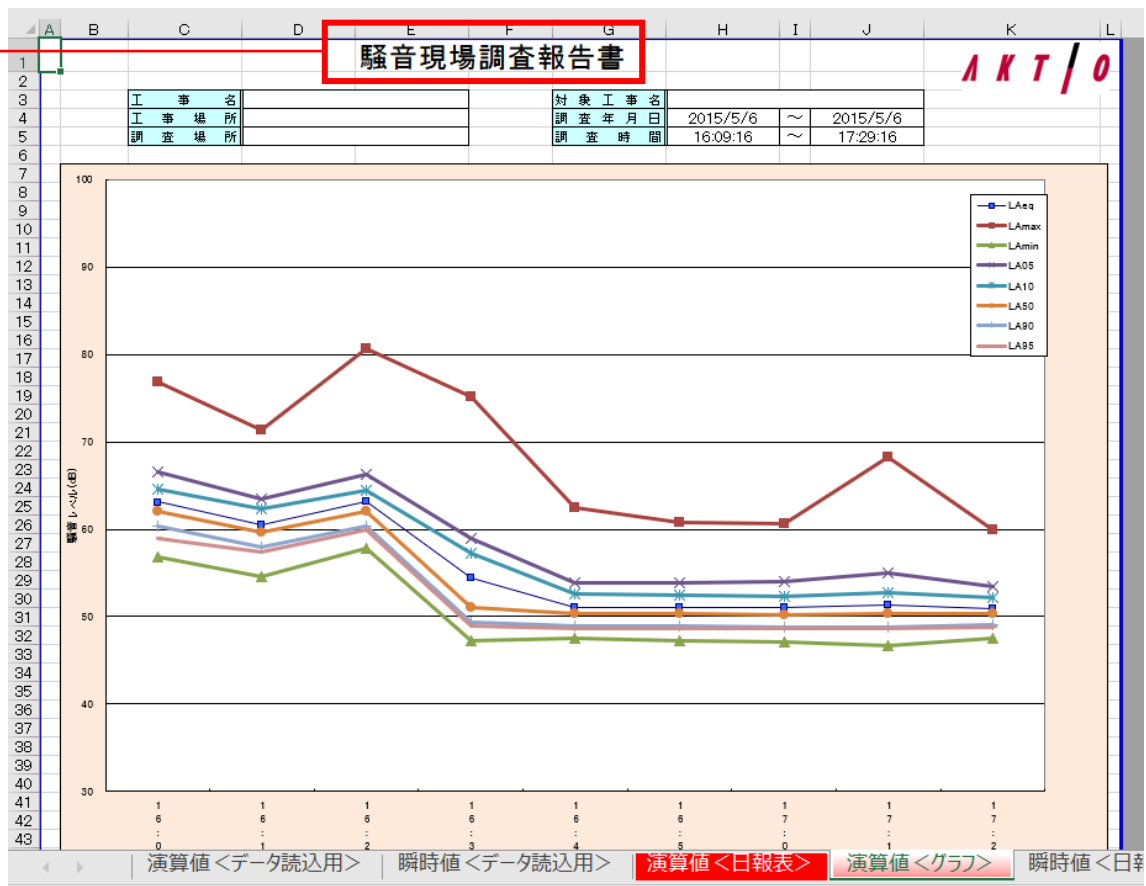
上記のキーを処理が止まるまで長押ししてください。







### 3-5. 調査報告書のグラフ

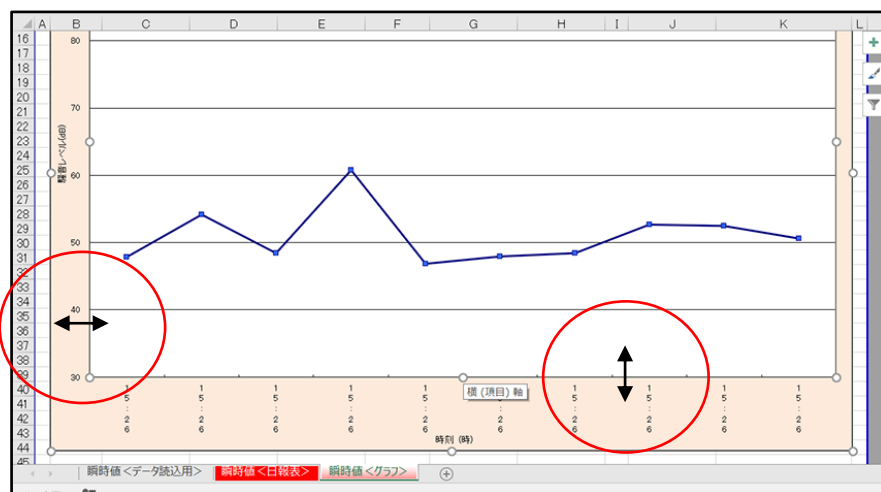


表題の変更について

振動と騒音の名称は機器を選択後、データを取り込んだ時点で自動的に変わります。

グラフの調整について

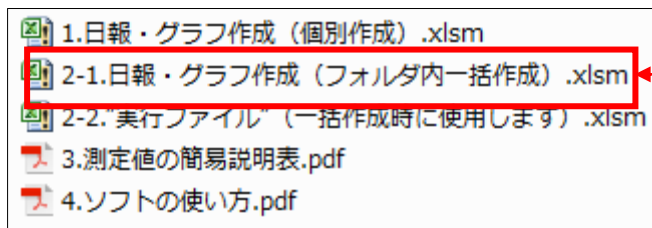
グラフの騒音レベルや時刻の文字が見づらい場合、グラフ内をクリックして調整してください。



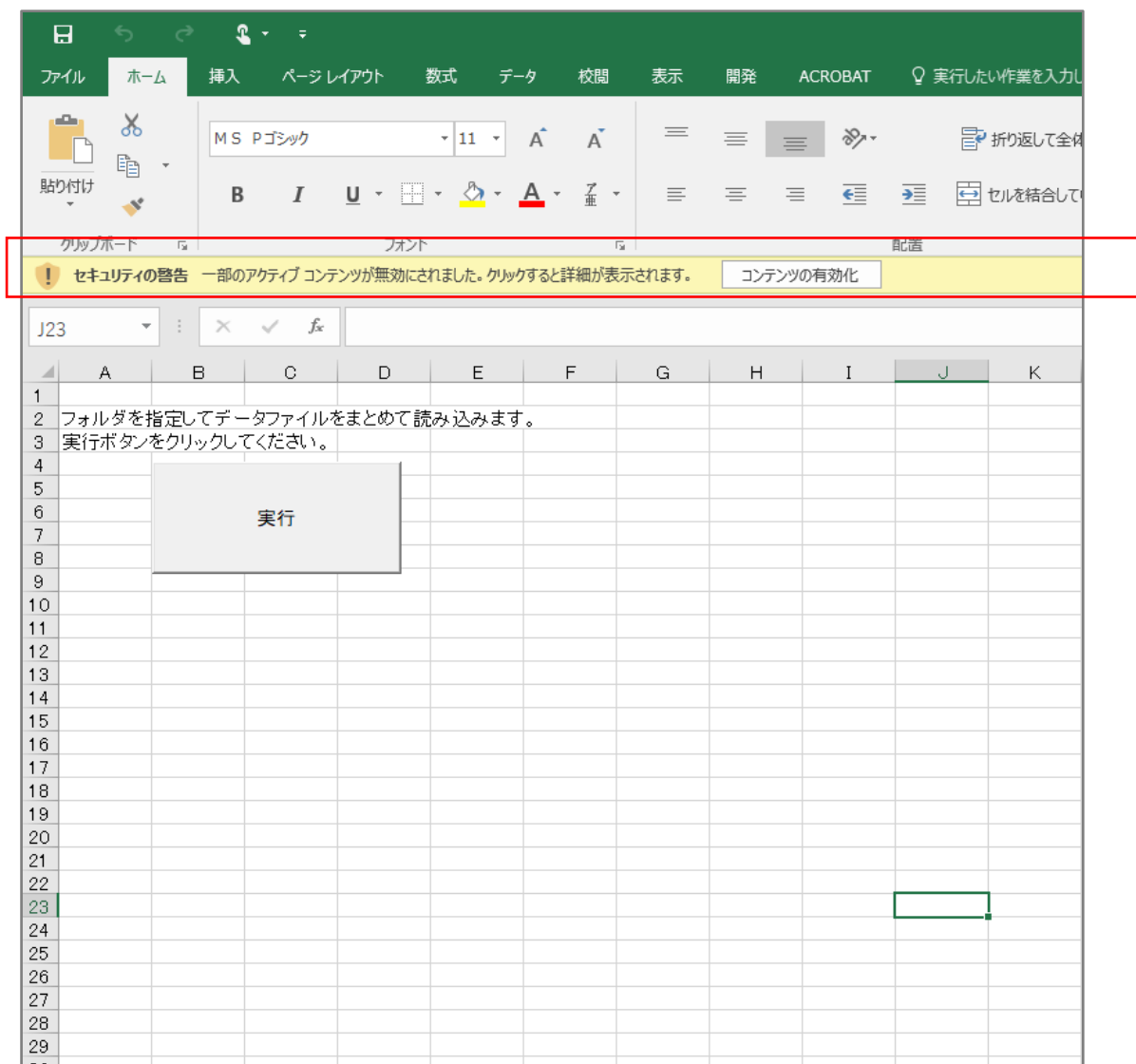
## 4. 一括読込ファイルの使用方法

4-1. ※一度に複数の出力ファイル进行处理する場合に使用します。

4-2. 「2-1.日報グラフ作成(フォルダ内一括作成).xlsm」ファイルを開きます。



コンテンツの有効化を押下します。








## ■NL・VM系 の場合

一括読込Form

×

測定データが保存されているフォルダ内のすべてのデータを一括で処理することができます

> 測定の際に使用した機械を選択してください


☐  NL-21
 ☐  NL-42
 ☐  VM-53A
 ☐  VM-55
 ☐  NL-43

日報作成を希望する値を選択してください

☐ 演算値
 ☐ 瞬時値

① 添付ファイル内の実行ファイルを選択してください(一括読込フォルダ内)

※実行ファイル.xlsxm を選択してください。

② 測定データが保存されている”フォルダ”  を選択してください

※フォルダ内のデータではなく、”フォルダ”ことです。

③ 作成した日報表の保存先を選択してください。

※例: デスクトップ  
 注意: フォルダ内に50個の測定データが入っている場合、  
 保存先として選択された場所に50個の日報データが追加されます。  
 大量のデータをまとめて一括処理する場合はデータ保存先用として別にフォルダを作成する事を推奨します。

実行

※ファイル一括読込フォームが立ち上がらない場合は実行ボタンを押下してください。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	フォルダを指定してデータファイルをまとめて読み込みます。					
3	実行ボタンをクリックしてください。					
4		実行				
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

## ■NV系の場合

一括読込Form

×

測定データが保存されているフォルダ内のすべてのデータを一括で処理することができます

● NV2009/NV2015


日報作成を希望する値を選択してください

☐ 演算値      ☐ 瞬時値

①添付ファイル内の実行ファイルを選択してください(一括読込フォルダ内)

参照

※実行ファイル.xlsm を選択してください。

②測定データが保存されている”フォルダ  ”を選択してください。

参照

※フォルダ内のデータではなく、“フォルダ”ことです。

③作成した日報表の保存先を選択してください。

参照

※例:デスクトップ  
注意:フォルダ内に50個の測定データが入っている場合、  
保存先として選択された場所に50個の日報データが追加されます。  
大量のデータをまとめて一括処理する場合はデータ保存先用として別にフォルダを作成する事を推奨します。

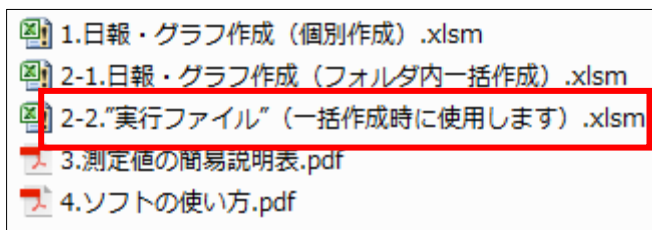
実行

4-3.使用した機械を選択します。

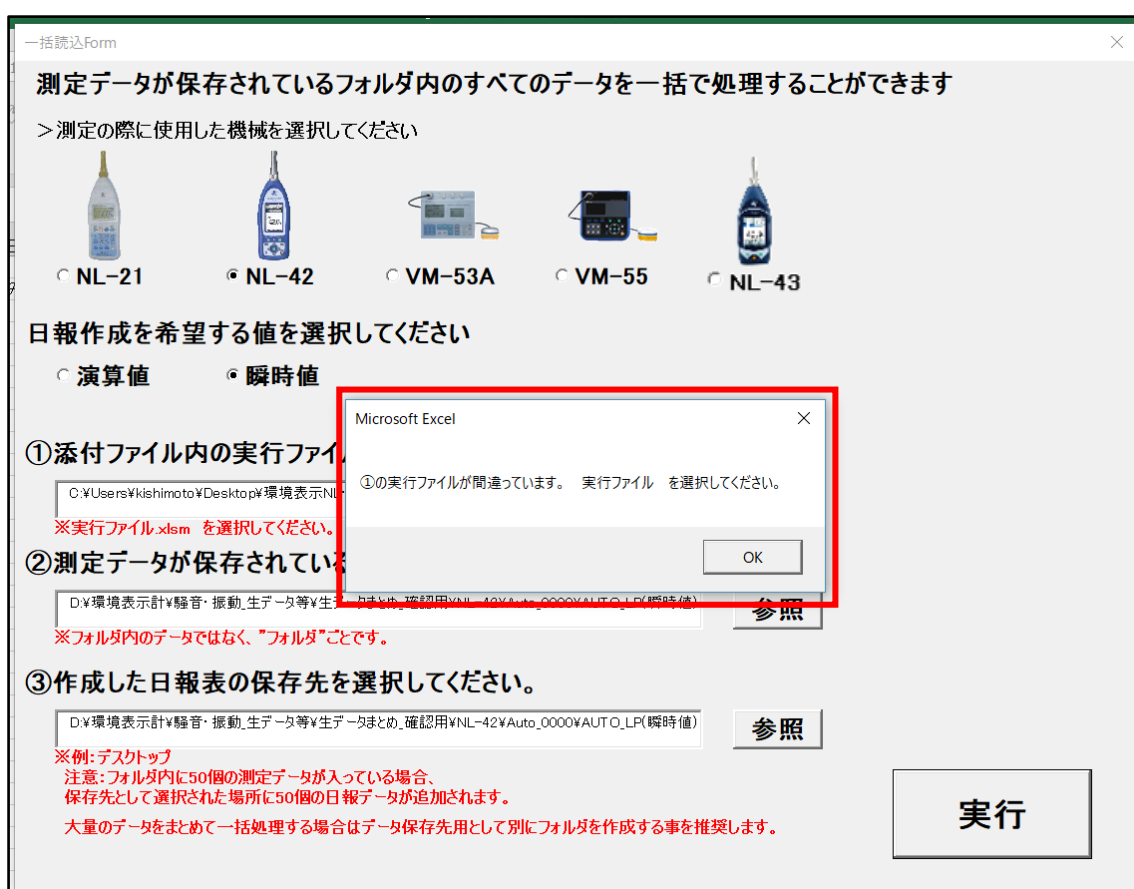
4-4. 演算値または瞬時値どちらの日報を作成するのかを選択します。

※NL-21・VM-53A の場合・・・オート 1 またはタイマーオート 1 で計測したデータが瞬時値  
オート 2 またはタイマーオート 2 で計測したデータが演算値

4-5. ①は、ソフト内「2-2.実行ファイル」を選択します。



実行ファイル 以外を選択した場合、警告が表示されます。

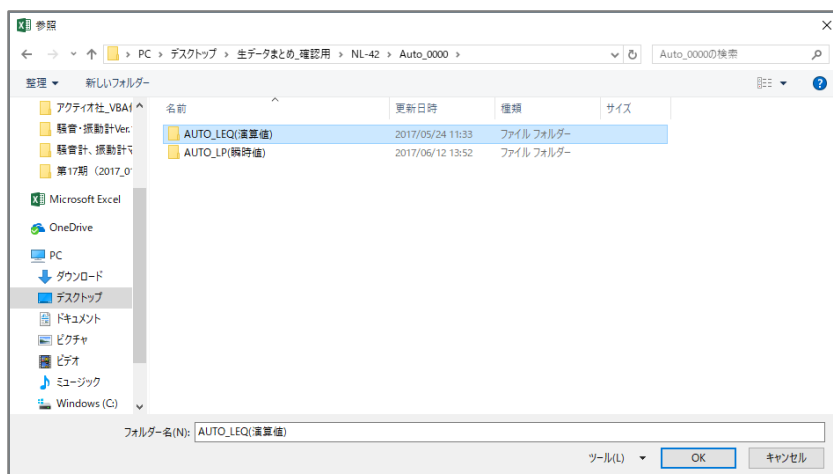


4-6. ②は、一括で取り込むファイルの保存先フォルダを選択します。

(フォルダ内の出力ファイル全てを読み込みます)

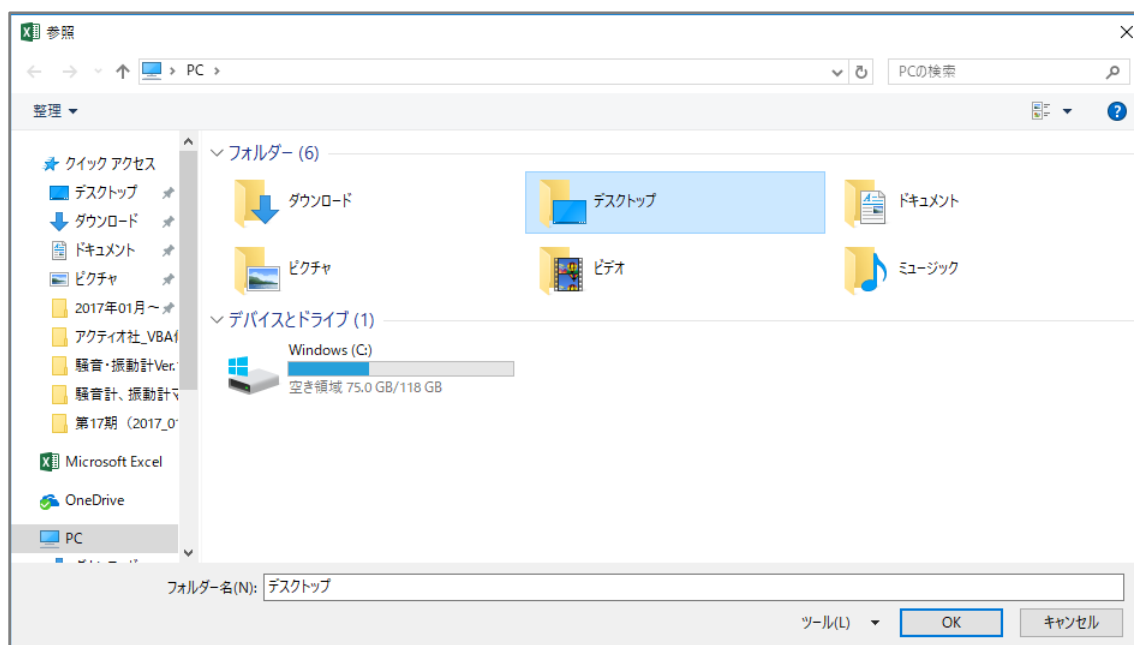
※選択するのは個別ファイルではなく、**フォルダごと**です。

例)NL-42 の演算値フォルダを選択



4-7. ③は、書き出し先フォルダを選択します(ファイルを保存したい場所を選択します)。






例)デスクトップに保存する場合



#### 4-8. 準備が完了したら、実行ボタンを押します。


一括読込Form

測定データが保存されているフォルダ内のすべてのデータを一括で処理することができます  
> 測定の際に使用した機械を選択してください

 NL-21    NL-42    VM-53A    VM-55    NL-43

日報作成を希望する値を選択してください  
☐ 演算値   ☐ 瞬時値

① 添付ファイル内の実行ファイルを選択してください(一括読込フォルダ内)  
 参照  
※実行ファイル .xdsn を選択してください。

② 測定データが保存されているフォルダ  を選択してください  
 参照  
※フォルダ内のデータではなく、「フォルダ」ことです。

③ 作成した日報表の保存先を選択してください。  
 参照  
※例: デスクトップ  
注意: フォルダ内に50個の測定データが入っている場合、  
保存先として選択された場所に50個の日報データが追加されます。  
大量のデータをまとめて一括処理する場合はデータ保存先用として別にフォルダを作成する事を推奨し

**実行**

Microsoft Excel

読み込みが完了しました。  
③で選んだ出力先にファイルが作成されていますので、日報を作成してください  
このファイルは閉じてください

OK

#### 4-9. 一括読込ファイルを閉じます。(③で指定した場所に保存されます)

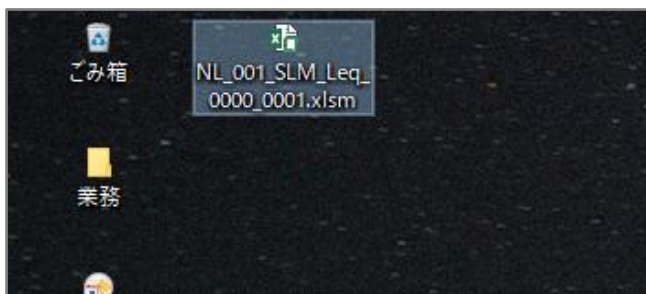
※一括処理は、フォルダ内の1ファイルずつ処理していきます。

お使いのPCのスペック(性能)によっては、処理ができない場合がございますので、  
その場合はお問合せください。



## 5. 一括読込で作成したファイルを開いて、日報とグラフを作成します。

作成方法とフィルタのかけ方は個別の場合(7 ページ)と同じです。



### 5-1. ファイルを開き、日報とグラフの作成を行います。

#### ■演算値の場合

#### ■瞬時値の場合

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

騒音現場調査報告書

工事名

工事場所

調査場所

対象工事名

調査年月日

調査時間

【日時フィルタ】

年月

時間

From

H27.1.17

15:26:00

To

H27.1.17

15:26:10

※任意の日時のみを抽出した日報とグラフを作成できます。(入力例:2017/6/1 9:00:00)

※フィルタリング不要な場合は空にしてください。

【警報閾値(以上)】

85.0

dB

※この数値を超えたものが、日報で赤字になります。

フィルタ&グラフ反映

Address

Date

Time

騒音レベル(dB)  
Lp

備考

1

H27.1.17

15:26:01

47.8

2

H27.1.17

15:26:02

54.2

3

H27.1.17

15:26:03

48.4

4

H27.1.17

15:26:04

60.8

5

H27.1.17

15:26:05

46.9

6

H27.1.17

15:26:06

47.9

7

H27.1.17

15:26:07

48.4

8

H27.1.17

15:26:08

52.7

9

H27.1.17

15:26:09

52.5

10

H27.1.17

15:26:10

50.6

11

H27.1.17

15:26:11

49.7

12

H27.1.17

15:26:12

57.2

13

H27.1.17

15:26:13

50.0

時刻値 <データ読み用>

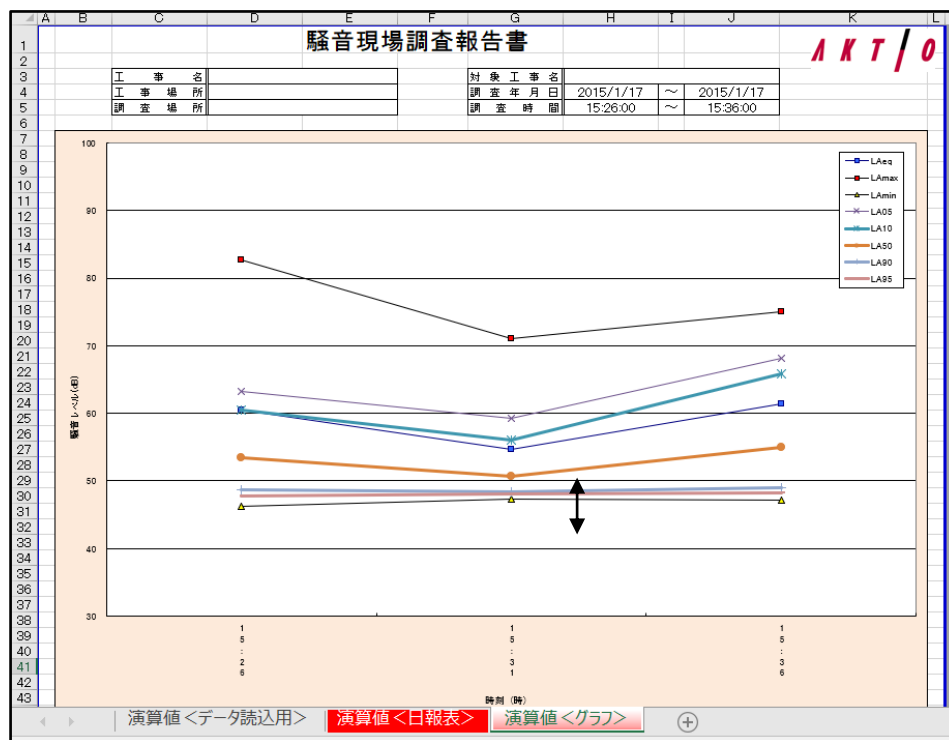
瞬間値 <日報表>

瞬間値 <グラフ>

+

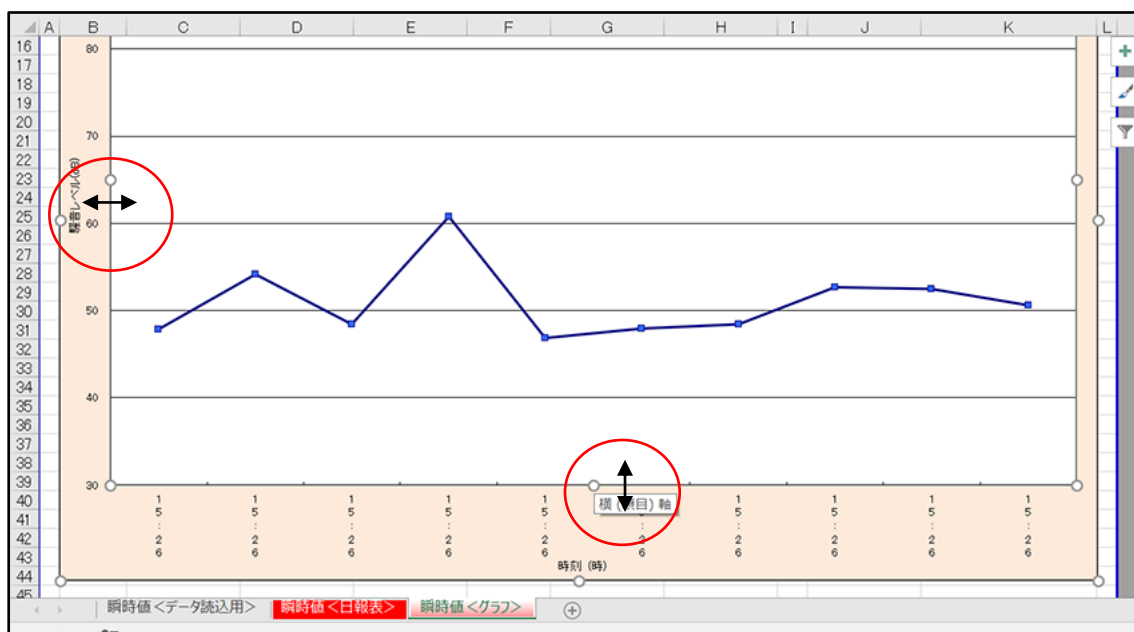
AKT/O

## 5-2. 日報とグラフを作成します。



## グラフの調整について

グラフの騒音レベルや時刻の文字が見づらい場合、グラフ内をクリックして調整してください。

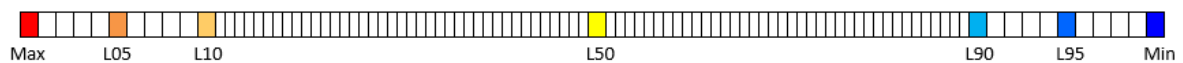


## 6.測定値の簡易説明

表記	呼び名	簡易説明
LA(V) eq	等価騒音(振動)レベル	測定時間内の音(振動)のエネルギーを平均化した値(平均値)
LA(V) Max	最大値	時間設定した時に測定した値の最大値
LA(V) Min	最小値	時間設定した時に測定した値の最小値
LA(V) 5	5%時間率 騒音(振動)レベル	時間設定した時に測定した値から高い方の5%を除外したあとの最大値 90%レンジの上端値※
LA(V) 10	10%時間率 騒音(振動)レベル	時間設定した時に測定した値から高い方の10%を除外したあとの最大値 80%レンジの上端値※
LA(V) 50	50%時間率 騒音(振動)レベル	全測定値を大小順に並べたとき、全個数の50%目の値 中央値とも呼ばれます (L50≠Leq)
LA(V) 90	90%時間率 騒音(振動)レベル	時間設定した時に測定した値から低い方の10%を除外したあとの最小値 80%レンジの下端値※
LA(V) 95	95%時間率 騒音(振動)レベル	時間設定した時に測定した値から低い方の5%を除外したあとの最小値 90%レンジの下端値※

※90%レンジとは 測定値の高い方と低い方の5%を除いた中央90%の測定値の幅 を意味します。

※80%レンジとは 測定値の高い方と低い方の10%を除いた中央80%の測定値の幅 を意味します。



騒音は、LA5・LA95・LAeq が一般的な測定結果、  
振動は、LV10・LV90・LReq が一般的な測定結果として見られることが多いです。

***Л К Т / О***